

金沢市従労NEWS

Aiming for the 80th Anniversary

組合設立:1946年 組合本部所在地:〒921-8026 石川県金沢市糸田新町1-30

金沢市内 記録的大雨



金沢競馬場正面横に仮設ごみ集積場

るほどの「想定外」が各所で起きました。14日(木曜)時点で、約250棟が床上浸水、約410棟が床下浸水する被害が報告されています。



こなん水辺公園に仮設ごみ集積場



北陸新幹線も長野⇄金沢間をはじめ敦賀発着便を中心に影響があったほか、北陸自動車道も7日早朝

から午後3時頃まで富山市～金沢市の区間が通行止め、国道8号線も7日早朝から約8時間にわたって津幡と小矢部を結ぶ県境にかけて約1.6kmが通行止めとなった。

豪雨が強さを増して行く中、市内における山間部を中心に土砂崩れのための通行止めも各所に広がり、平地においても家屋の浸水や道路における冠水被害が広い範囲で見られ、大きい幹線道路に関しても地震の影響による凸凹部分や修繕途中である箇所にも水量が流れ込むなどによる水位上昇、河川に関しても犀川や浅野川が増水が続き、大野川(湊)、森下川(森本)、金腐川(小坂)、伏見川(米泉)、河北潟(八田)等が氾濫危険水位を超えるなど、線状降水帯発生により約7万5000人に避難指示が出されました。

特に、金沢競馬場の厩舎エリアを中心にレース場も含む広い範囲で水没したほか、湖南公民館・大浦小学校に関しては市の指定避難所として「安全」を確保すべき場所が、急遽「貼り紙」等の案内により隣接する別の場所に対応するなど、避難所に辿り着けない住民の不安な要素を残しつつ雨嵐が過ぎ去るのを耐え凌ぐこととなった。

記録的な大雨による被害で金沢競馬場でも衛生面・脚の負担も考え、競走馬も県内外へ避難!!

集計が追いつかないほどの被害増!!



8月7日午前9時頃の森本駅前走行時



不動寺校下 四王寺町手前で崖崩れ

石川県は、8月6日(水曜)からの大雨による大きな被害を受けた方々に対し、7日(木曜)夜に金沢市に対し『災害救助法』を適用し、金沢市内における避難所の開設等、今回の豪雨による災害対応で掛かった費用を国と県で負担すると発表がありました。



浅野川校下 蚊爪町で冠水による状況判断



蚊爪町 蚊戸進前局長宅前ST 水量増

以後、12日(火曜)には金沢市議会災害等対策会議が行われ、市内の被害状況および今後の対応等が報告され、村山 卓 市長からは被災地の復旧や被災者支援について「本年度の9月補正予算案」で対応する考えを述べた上で、『被災した方々の意見を伺いながら、事業所への支援も含めて検討したい』と強調しており、災害復旧に関しても『何ができるか、次年度の当初予算に向けての検討を国や県に相談しながら進める』と語っています。

なお、この会議上では『警察の誘導した迂回路も冠水していた』事実も報告され、安全確保のための各関係機関との連携について、特に『市と警察の連携』を強く求める声が 下沢 広伸 市議 よりあったほか、大雨の被害報告として、105箇所の土砂崩れ(災害)、地下道を含む道路冠水が44箇所、河北潟周辺エリアを中心に浸水被害が多数確認されたことが報告されています。

14日(木曜)には、金沢市職員が実際に浸水した住宅等に訪問し被災状況を調査することも始まり、被災した方々が公的な支援を円滑に受け取るために、申請に必要な「罹災証明書」についても含めて調査を進める方針を発表しております。

避難所周辺一帯が冠水した「金沢市大浦町」では多くの住宅が浸水し、家財道具等にも雨水が染み込み、乾かず作業や使えなくなったものを廃棄物として処理するための片付けに、お盆休みで帰省のタイミングとも重なっており、能登半島地震の際にも家族団欒のひと時を楽しみに考えていた方々を直撃しており、今回も人が集まる時期に起きた悲劇(災害)として、心を落ち着かせる「お盆」にはならず、ご先祖様達も見守る中で、いち早く綺麗に元通りにしたい気持ちがあります。

今回の被害の原因について、金沢市では大浦小学校周辺を流れる大宮川等に排水能力を大きく超える量の雨水が短時間に流れ込んだこと、大宮川の下流にある河北潟で潮位が上昇し排水ができなくなったことが考えられるとしています。

金沢市山科にある「大乘寺山動物霊園 管理事務所」も大雨で崖下に崩落!!